

ペットとの暮らしを活用する豊かな社会 — それを可能にする環境整備 —

《第 2 部》

事例発表③ 「IT が可能にする飼い主と地域を繋ぐ環境整備－Wan!Pass の取り組み事例から－」 小早川 斉 氏 (ペットオーライ株式会社 代表取締役)

【スライド 01】

○司会 「IT が可能にする飼い主と地域をつなぐ環境整備－Wan!Pass の取り組み事例から－」 Knots の正会員でありますペットオーライ株式会社代表取締役、小早川斉様をお願いしたいと思います。

小早川様、どうしても人と動物の関係というのはアナログな部分が多いのですが、その中で、IT を活用した IT 会社の社長に是非、よろしくお願いします。

○小早川 よろしく申し上げます。

実はさっき谷口先生、最初お話ししたとき、まさかの同い年だったということで、同い年の 2 人がすごい、肌がちょっと黒めであるという状態になりました、ちょっとアグレッシブな雰囲気が出ておりますが、多分もう長い時間お話聞いているところで、ちょっとお疲れのところかと思いますが、私のほうから IT というところを活用して、どういうふうにペットツーリズムを盛り上げていくかというところの事例をお話できたらなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

今日の登壇者の皆さんは、皆さん御縁がありまして、本当に、中西さんも、観光局さんは「おでかけわんこ部」さんを御紹介いただきましたが、あちらも実は我々、業務提携してまして、いろいろ連携させてもらってたということですね。

川口さんのほうはまさかの、もともと同じリクルート出身だったということで、大変御縁があるなと思ってます。

【スライド 02】

私、リクルートという会社の中で、Ring という新規事業の「ゼクシィ」とかああいうのを出してきた伝統行事みたいなものがあるんですけど、その中でグランプリを取ってペットオーライという事業をつくりまして、そこから、今、スピンアウトさせて会社をやらせていただいております。

【スライド 03】

我々の会社、ペットというところで IT というところでメインにしておりますが、ペット系 IT の中でも、僕らがやりたいのは、やっぱりこれ、10 年ぐらいですね、このペット業界に携わらせていただいている中で、どうしてもやっぱりインフラ、IT 的なインフラの部分がどうしても脆弱だなというところがずっと考えてたところでした。

なので、私は IT 側の人間なので、そういった技術とか知恵とか、そういったものをうまくこの業界に還元しながら、より便利な世界だったりとか、皆さんが解決できないところを我々の世代として何か解決できないかなということの主軸に会社をやらせていただいているという会社になっております。

【スライド 04】

我々の会社、一応 2 つ事業を展開してまして、1 つがペットオーライという、社名にもなっているサービスなんですけど、ここを、まさ

に今日いらっしゃっていただいている先生方などにも協力いただいたりとか、冨永さんにはもう10年前からお世話になって、ほぼ息子みたいな取り扱いをされてるんですけども。

それで何とかユーザー数を伸ばしまして、でも30万件の相談を受けていたりとか、ユーザーさんもすごいどんどん伸びていって、ありがたいことにペット相談サービスというところではナンバーワンのところになってきたのかなというところになります。

【スライド 05】

もう一個「Wan!Pass」、今日の事例のほうは「Wan!Pass」というところをメインでお話ししたいなと思ってんですけども、こちらリリースから2年で3,000施設ぐらいに増えまして、NHKさんも含め、日経さんとかも含め、いろいろメディアにも御紹介いただいておりますというところで、昨今のペットツーリズムのこの流れにうまく乗りながら、いろいろ情報発信させていただいております。

【スライド 06】

今日、我々の会社の話をしてもある意味しょうがない部分もあるかなと思ったので、ちょっと私たちのほうで独自調査したデータを皆さん、持ち帰りいただけたらなと思っております。

【スライド 07】

ペットオーナーさんたちが実際どんなふうにお出かけの状況になっているのかというところなんですけど、今現状、やはり自家用車を利用する人がほとんどです。これ、ほかの調査データで見ても、大体同じぐらいの割合でしたので、大体これぐらいのかな、8割強ですね、なのかなと思うんですけども。

これの中身で、これって皆さん車が好きだからというわけでもなくて、結局のところ、公共交通機関のところに対して、やはり乗れるチャンスが

少ないと。乗り方もあまり分かってない方がやっぱり現状多いなというところと、あとトレーニングの問題で、やはりクレートトレーニングなんかをしっかりとできてる飼い主さん、少ないという様々な問題から、これは乗りたくないのではなく、乗れないからしょうがなく車にしてるって方がやっぱり多いです。

という状況から、実質8割強の方が自動車で活動してると。でも、これは一方、逆手に取って、インフラが整ってないところでも、幾らでもツーリズムチャンスが生まれるというところもペットツーリズムの最大の特徴であり、かつ海外に逃げないですね、皆さん。国内での旅行がやっぱり中心で動くので、国内需要で絶対に囲い込めるというのもペットツーリズムの強みというところがポイントかなと思ってます。

【スライド 08】

もう一つね、これ、宿泊施設で重要視すること何ですかと言うと、いろいろあるんですけど、分かりやすいところでいくと、やっぱり一緒に過ごせる時間がとにかく長いことと、御飯と一緒に食べられるみたいなことはやっぱりプライオリティーが高くて、あとはやっぱり意外と、私もワンちゃんを入れる部屋がありますよというホテルに行くと、行動が制限されてしまうことが多いなということがあります。

なので、なるべくいろいろな場所に行けるというところのニーズをかなえてあげるということも大事なかなというところですね。

【スライド 09】

一方、飲食店というところで行くと、やはり店内ですね。大概ペットオーケーと書いてあっても、テラスというところが多いかなと思います。なので、冬は凍えて、夏は暑くて、どうする？なんて言いながら、やりながら、雨降ったら、もう行く場所ありませんみたいなこともやっぱり多いという中で、店内に同伴できるというところがどこ

かないかなということ、やはり皆さん悩んでらっしゃるといのがあったりします。

あと、意外とここポイントだったりしまして、ペットと入れる場所であっても、それが距離をしっかりと保てるかどうかですね。隣に大型犬が来たときに、横にチワワがいる、この状況が、1メートル以内とか最悪な事態だなというところがあるので、こういうのをなるべく避けられるような店内環境とかルールみたいなものを整備しておくことも大事かなと思ってます。

【スライド 10】

どれぐらいの頻度で行くのというところで行くと、まだやはり年一、二回のところがほとんどなんですけども、中にはもう年 10 回以上行きますという方もやっぱりいらっしゃいます。

これは大体 4,000 名ぐらいアンケート取ってるんですけども、それでも年に 5 から 10 で 5 % ぐらいいるんで、かなり頻度高く行かれる方もいるのかなと思いますし、1 泊単価がやはり家族プラスワンちゃんとかで行くと 10 万円とか、大体単価で宿泊でいくんですけど、そういうところも含めて、よりこの 1 回から 2 回みたいところで終わってしまってる人に、もっとお出かけしやすくして増やしていくかということも、これからツーリズムのマーケットを広げるポイントかなということなんです。

【スライド 11】

ここも結構面白かったんですけど、片道の移動時間の許容範囲。これ飼主さんの感覚です。大体やっぱり二、三時間というところですね。なので、車で二、三時間みたいところが大体ツーリズム範囲の中でマーケットの視野に入ってくるのかなと思うと、今回、神戸市さんの話がありましたけど、神戸周り、二、三時間で来られるエリアの人たちは、ある意味対象になってくるよという見方もできるかなと思っております。

逆にこれ 6 時間以上で問題ないという人は、逆

に問題だろうと思ってますね。それワンちゃんかわいそうだろうと。適度な休憩を絶対というところで行くと、1 時間ぐらいのタイミングでパーキングに行く。そこで、ちゃんとドッグランが整備されていて、そこでしっかり遊んでリフレッシュできるような環境を、出発地点からゴールまでの間にどうつくっていくかということも、まちづくりという観点が必要なんだなと思ってます。

【スライド 12】

最後に、これデータとしては最後なんですけど、やっぱり結局お店見つけるのが大変ですというのが一番ペインとして大きいです。かつ、宿泊先もそうなんですけど、予約が取れないという、意外とそこまでボリュームが少ないので、私もそうなんですけど、大体そうですね、今週末でお出かけしようかなみたいな感覚でお出かけできる先はほぼないんですね。そこもまだあるので、ある意味、宿泊事業者さんとしてはまだまだ白地ですという状況があると思います。

【スライド 13】

とはいえ、お出かけしたい、したい、したいというのをかなえるだけではあまり意味がなく、先ほどもちょっとマナー問題という話も出しましたが、現状、国内で行くと、正直我々相談サービスやっていて、まだまだしつけというところが、最低水準までいけてる方って本当に少ないなと思っています。

それがゆえに、周りの事業者さんたちも、いや、犬は入れたくないよとか、過去、ペットオーケーにしてただけど、何か机の上にワンちゃん乗せるわ、人間のお皿で食べさせてるわ、むちゃくちゃでという話をたくさん最近聞きます。

なので、過去の行いによって、今、どんどん、むしろ狭まっているところも多くなってしまっているというのもこの業界の問題であり、ペット業界としてどうにかしなきゃいけないと。公園で、うちの子しっかり、ちゃんとしつけできてるのと

か言いながら、ぐいぐい引っ張ってるワンちゃん連れてるおばちゃんよくいますよね。そういう状況をどうにか変えていかなきゃいけないなということを思っていました。

【スライド 14】

かつ、ツーリズムの課題点で行くと、私の理由なんですけど、正直データが本当なかったです。我々の「Wan!Pass」事業をやる上でいろいろデータを集めていたんですけど、じゃあペットツーリズムをやったらどれくらい売上げ上がるの？人来るの？というときに軽井沢の事例で数字がないんですね。人間の行動データというのはGPSとかでたくさん取れてるんですが、そこに犬というものが加わったものというのが、この日本に存在していないというのはかなり問題でして、がゆえに資金も集められないし、やろうってときに協力を得られないというところがあるので、とにかくデータを集めなきゃいけないと。

あと、大きな取組になってませんといふところなんですけど、ただ個店ベースでは、やはり業績上がっているという話もやっぱり個別には来ますと。行動のデータの可視化と、そのデータを可視化することで毎回改善をしていくってサイクルをしっかりとやっていくことが大事かなと思ってるんですが。

【スライド 15】

ペットツーリズム、ちょっとまとめて書いてるんですけど、結構点で、何かどこかがペットと泊まれるホテルで飲食店やるぞと言ったら、うわーっと人来たみたいなことで、点になってしまっていたのが、やっぱり面でやっていかなきゃいけないと。なので、神戸さんの取組、大変すばらしいなと思うんですけども、面でやっていくことと。

あと、結構ペットを連れてくるときにおけるリスクがやっぱり日本ってよく見過ぎてしまうところもあるかなと思っていて、なので、できない

ほう、こういうようにマナー悪い人が来るよねを前提にがちがちに縛るみたいなことがやっぱり多いなと思ってるんですが、そうではなくて、より何かができるよね、私、この子はちゃんとできるよねという人たちに対してインセンティブをどんどん与えていくことで、皆さんがもっとモチベーション高く、ちゃんとやっていくこと大事だよねという、うちの子ちゃんと大学入れなきゃと同じ感覚でワンちゃんと暮らしていけるというか。

あとはペットツーリズム1本でがんとやるのではなく、ペットツーリズム掛けるスポーツとか、ペットツーリズム掛ける〇〇みたいなものをどんどんつくっていくということも大事なかなということと、あとは何か1回変えたら、もうペットでやるって決めたらやり切るぞみたいなところで頑張り過ぎずに、より例えば関西だとスキー場ってどこですかね、神戸とか、スキーエリアって。六甲山か、そうですね、六甲山も、今、フリーシーズンがペットというところを開放してると思うんですが、関東も苗場とかあの辺りって、夏場はもうシャッター街なんですね。もう全然人もいないし、みんな仕事やる気ないのでシエスタみたいになっちゃってるんですよ。

なんですけど、そのタイミングって、ある意味ペットにとっては天国ですよ、標高が高くて涼しくて。人がいないんで、一緒にワンちゃんと楽しめやすい。これだけ条件そろってるのに、何でもやらないんですかみたいなところがあるので、1年中ペットでやるぞというところだと大変かもしれませんが、閑散期にペットを受け入れるみたいな形の考えでどれだけやれるかってことも大事だなと思ってます。

これ、私が勝手に今はやらそうとしてる言葉なんですけど、移・食・遊・泊というツーリズムにおいて、結局のところ泊まれる場所がありますっていっても、そのホテルで全部完結させるしか、意外とお出かけ先行ってから、何もなかったりするんですよ。これって正直消費としてすごいもっ

たいたいというところもありまして、いかに移動ですね、まず電車とかでもいいですし、車とか、そういう移動ができ、そこで食べることができる。いろいろ御飯を食べたりとかできる。で、遊ぶことができる。そして泊まれることができるということがトータルで、全部を回遊させていくことで、エリアもマーケットも消費を最大化させていくということがペットツーリズムというか、ペットタウンみたいなところをつくっていく上では大事だなと思ってます。

【スライド 16】 【スライド 17】

という中で、「Wan!Pass」というのを実は僕つくってるんですという話に来るんですけど。何をしてるかという、シンプルにワンちゃんが行ける場所見つけられますというアプリをつくってるんですが、普通にやると何かワンちゃんの行ける先がピンとマップが立ってるだけになってしまふんですよ。

これで僕自身もそうなんですけど、困るのが、全部中見て、ちゃんとルール見て、うちのは入れるんだっけみたいなこと確認してやっていくという物すごい煩雑な作業が発生してたんですけど、我々はペットのデータを基に、どこならあなたが入れる場所、ここは入れない場所というのが全部可変的に可視化される仕組みになってます。なので、黄色が入れない、緑は入れるみたいなものがあるんで、特に大型犬の方は、もうこのアプリ見ていただくと、緑のところに行けばいいというふうに簡単に把握できます。

【スライド 18】 【スライド 19】

かつ、狂犬病とか混合ワクチンの証明書、病院で発行される紙ですね、あれを持ってきてくださいというところがあるんですけど、紙ぼろぼろになるんですね、1年で。ですし、もう何か忘れたとき大変みたいなものがあるんですけど、これを実は我々のほう、画像を入れることで全部デジタル化できる仕組みをつくっています。A I - O C R

という技術と裏側で実は人が頑張ってるみたいな、両方やりながらやってるんですけど。大分精度高くなってきて、全国のいろんな先生がつくる様々な愉快的な書式をかなり読み取りまくりまして、A I で学習させまくって、読み取れる世界をつくり上げたんですが、それによってデジタル化したデータをこういった店舗に可変的に配置してるQRコードをアプリで読み込むことでデータの、証明書データと照合して、あなたはちゃんと期間内の証明書を持っていますよみたいなことが証明されて発行できるというような、入口の手続の仕組みなんかをつくっています。

このときに実は同意書ですね、同意書も紙で書いて、いろいろやってると思うんですけど、あれも全部そのままエビデンスを取って同意ができるという仕組みだったりとか、行くことによってクーポンを発行したり。クーポンで事前にもらって行くではなく、行ったことでクーポンを発行させて再来店してもらおうとか、場合によってはエリアで展開する場合は、このお店に行ったことで別のお店のクーポンを得て、さらに回遊させるかですね、そういうものができるようなものをつくっています。

これが全部、実はやってることでデータが集まるようになってまして、何県の人かどの県に行ってるのか、自分たちの商圈としてどれぐらいまでの範囲の人たちが来てくれてるとか、そういうのがいろいろ集まるようになってると、さっき情報が最新化されてないってお話があったと思うんですけど、ここもすごい問題だったんですね。メディアでつくり過ぎると、メディアはやっぱり可変しづらいんですよ。なんですけど、我々はちゃんと管理画面を用意して、ここを変えることでペットにおける入店条件も全部変えることができるようになってます、リアルタイムでですね。で、さっきのピンが緑、黄色みたいなのが変わるというのもつくっています。

【スライド 20】

プラス、しつけ認定というものも我々のほうでやらせていただいてまして、今日、宗像さんもいらっしゃるんで、JAHA さんもいると思うんですけど、我々のほうでは生活に則した、なるべくライトな形で個別認定ができるような仕組みをつくっていて、これは何を目的にしてるかという、飲食店の方はしつけができてたら入っていいよという人がやっぱり多いんですね。普通、今、ペットNGにしてるんだけど、しつけができてる人だけだったら入れていいよというお店があるんですが、そういった方々が店で設定すると、このしつけ認定を持ってる人だけがさっきの入店許可が出る。ピンが緑色になるという設定なんかもできるようにしています。

ここは実は我々がつくったから我々のものだというわけではなく、外部のいろいろな認定を今ペット業界でもやられているところもあるかなと思うんですけど、そういうものを後々どんどんここに入れていって、皆さんが発行してる、そういう資格というものをデジタルツール化して、さらに社会実装するというところをクイックにできるような仕組みに、前提にしてるので、これは業界の皆さんとどんどん協業してやっていきたいなということをつくっています。

【スライド 21】【スライド 22】

こういうのも全部アプリで認定データを渡してアップできますというのをスタートアップでお金あまりないんですけど、ゼロ円でひたすら配って世の中の地盤をつくりにいってますということを頑張っております。

【スライド 23】

で、これですね、「news every.」さんに先日御紹介いただいて、こうやってNHKさんにも、NHKさんは社名出してくれない、ケチなところですね。仕方ないんですけど。頑張って、このロゴだけでも映れと思って映してもらい

ました。

【スライド 24】【スライド 25】

ちょっと事例的にはそんなことをやりながら、富士川町という、甲府盆地の奥の方にある富士川という名前があるのに富士山がそこから見えないう致命的な、山梨では致命的な町があるんですけども、町長と一緒に、町長がペットの共生をやるんだということをおっしゃって連絡いただいて、包括連携協定結びまして、先日もドッグランを造って、こんなやりましたね、パチンと切る、あれにも出させていただきまして、オープンしたんですけど、ここでの取組としては、こういった「Wan!Pass」を使ってドッグランに入る際、必ず読み取ってくださいと。

それによって鍵番号が発行されて、それで入ることができるということを徹底することで、その日に何頭、どこから来てるのかというのが全部データで集まるようになってます。これによって、その県内の人たちなのか、それともツーリズムで本当に寄ってくれた人たちが来てるのかってことを定量的に把握できたりとか。

あと先日もちょっとトラブルがあったんですね、ドッグランで。のときに、どんなワンちゃんだったかというのが全部データで残ってるので、そういう意味でのトラッキングもできるようになっています。というので取組をしていきまして、やってるんですけど。

あわせて。こんな時間になっちゃった、押してるのに。

【スライド 26】

富士川町って本当に誰も皆さん知らない町で、ペットツーリズムであんなところは全然候補に挙がりませんみたいな状態だったんですけど、そんな中、こう僕らでツアーを組んでしまっ、新宿駅のど真ん中でバスツアーをそこからスタートさせて、富士川町に送り込むというのをやります。ここで町長が挨拶されてます。そこ飛ばし

ながら行きますね、すみません。こうやって皆さん、アプリを使っていただきながら、さくら祭りを楽しんでいただくというツアーをやったんですけれども。

こうやっていろいろ配慮しながら、もともとペット絶対乗れないバスを、何とか乗れるようにして、こうやって中で何かペットクイズとかやりながら、みんなで、何かゲームしましょうとかやりながらやってって、こうやって皆さん、お出かけをしていただいたんですけれど。さくら祭りにも行って、帰りに神社とか行ってと。こうやって、皆さん知らなかったんですね。1人だけ、これ10組でやったんですけれど、一部だけ、山梨出身の方がいたんで知ってたというぐらいですけど、やっぱり1回行ったら皆さんまた行きたいってなったんですよ。

でも、その要素って、春に行ってるんで桜だったんですけど、秋に行くと紅葉がきれいです。紅葉がワンちゃんに見られて、すごい栈橋みたいのところ行けるとあるんですって情報与えたら、じゃあ、次、秋に来ますというふうに、やっぱりなるんですけど。やっぱり先に一度体験してもらおうということもすごい大事かなと思っていて、僕らちょっと1回ツアーとかもやってみました。すごい喜ばれて、好評でしたというところですね。

【スライド 27】

そのほかには、軽井沢観光協会さんと軽井沢も全部マッピングをして。軽井沢さんはもうちょっと先行っちゃってるんで、もうマナーと、いっぱい人が来てマナー困ってるんでということで、マナー啓蒙をどんどんやっというところを取り組ませていただいております。

【スライド 28】 【スライド 29】

あとは群馬県の専門学校さんと Wan!Pass 認定士をどんどん広げていこうというところで連携をさせていただいたりとか、あとは箱根観光船さ

ん、小田急さんと、ワンちゃんと乗れる海賊船ということで、いろいろ展開してる時に、チェックインラリーというイベントなんかをやらせていただいて、これは僕らって、チェックインという、さっきの機能を使うことで、チェックポイントをエリアにつくることで、それを全部回ると称号を得られますという体験なんかもつくれるようになってます。

それによってプレゼントがあるよとかということで、観光地を回遊させるという取組をやったんですけど、そしたら皆さん、何回も、この芦ノ湖来てたのに、あんなところ知らなかったみたいなお声がいっぱいありまして。そういうものを活用することで、ただ周りましょうではなく、周ることによるインセンティブとか楽しみを与えてあげるというのも1つ大事かなと。

これは、すみません、石川さんなんですけれど、ちょっと飛ばしながら、見ていると時間があれなんで、こんな感じで、海賊船に乗っていったんですけど、ざっくり言うと、ちゃんとマーケティングして、証明書とかも手続も楽だよとかやっていくと、あ、こんな感じですね、入口で全部QRコード読むだけで手続きが完了すると。

ちなみに、最近チケット機能もリリースして、全部チケットもぎりから何から全部あれで完了できるようにしたりとかやっておりました。これですね、チェックインになりますね。こんな感じで、いろんなところにチェックインしましょうということをやりました。

こういった取組をがっとうやっていくことでしっかり集客も取れて、小田急さんの中でも、これもっとやっていこうみたいな形にやっぱり変わってきたことで、より寛容になってきたという事例も生まれております。

というのが、一応ツーリズムのお話になってまして。ちょっとしゃべり過ぎちゃいましたね。ついしゃべるのが好きなんでちょっと長くなってしまったんですけど。

【スライド 30】

最後に、さささっと防災の話だけ。今日防災の話もあったので、神戸のお話もありましたので、防災の話だけですけれど、これちょっと皆さん、今日業界の方もたくさんいらっしゃると思うので。

【スライド 31】

我々のほうで2,200名ぐらいですかね、アンケート取ったんですが、やっぱり最初、ワンちゃんを飼われるタイミングで防災のことってほとんどやっぱり皆さん意識してませんというところだなと思います。

【スライド 32】 【スライド 33】 【スライド 34】

ただ、やっぱり防災のところって、すごい一番、家族なんで大事かなと思うんですけども。昨日もちょうど防災のイベントでしゃべってたんですけど、自助とか共助とか、そういった観点でもいろいろ大事なことがあるなと思うんですけど。

今やはりもう皆さんが、避難所に対してほぼ諦めてるみたいな現状というのもデータで出てきました。かつ、同伴ルールとかをちゃんを把握してる人はほとんどいないです。備えるものも皆さんの中で、何となく情報見て、何となくそろえとこうと、御飯だけはやっといいたほうがいいよね、ローリングストックなんて言いながらやってはいるんですけど、やっぱりまだまだ全然、同伴・同行の場所をそもそも理解してないということと、あと同行・同伴のルールも知らない。

で、避難情報を認知する方法がめちゃめちゃ煩雑という。自治体のサイトに行って物すごい見づらい表をひたすら眺めるみたいな。僕も自分の自治体見たんですけど、最後まで何見てるか分からなかったという、すごい地獄だなと思うんですね。というときに、やっぱりそれを特化させる情報をどう伝えるか、UI/UXみたいなことをどうやるかというのをすごい大事だなと思っていて。

僕らのほうでは、ただただ防災のことしようねと言っても意識しないんですよ。でも僕もそう

なんですけど、家が揺れたときって、むちゃむちゃ意識するんですよ。あ、揺れた、ここから、もういつ来るかなということも思って。というところに着目して、僕らは防災、災害のAPIを拾ってきて、それが来たときに防災についてよくみましようということを押すって機能をつくっています。

【スライド 35】 【スライド 36】

まだ情報が集まってないんであれなんですけど、これから避難所情報とかもマップでピンを立てられることによって、そういうタイミングで、ここに、ほら避難所があるんだよ。でも避難するときって、そのエリアって、こういう状態なんだよみたいなことを情報発信できる仕組みなんかをつくってまして。こういうものも通して、とにかく取組をやって、多くの方が何か起こったときも助けられる。これツーリズムのときはなおさら、お出かけ先で起こったときって本当に分かんないんで。

でも、お出かけ先で地震が起こったってときに、その場のところの情報から、ここなら避難できますよってことをプッシュできるような仕組みで今つくろうとしてやってるんですけど、問題はオープンデータがないということですね。各自治体さんが、それぞれ不思議な、いろんな形で、愉快なばらばらなデータでされているので、この我々IT企業は死ぬほどデータを見るのに苦労するという状況を何とか変えていって、オープンデータって今つくってますけど、そこにペットという1行を、1列をつくってほしいなというのを、今、話しております。

【スライド 37】 【スライド 38】

はい、すみません。だだだっとお話ししましたが、以上です。御清聴ありがとうございました。

○司会 小早川さん、ありがとうございました。



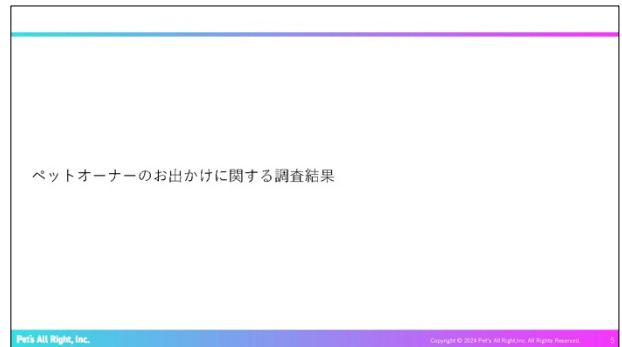
【スライド 01】



【スライド 05】



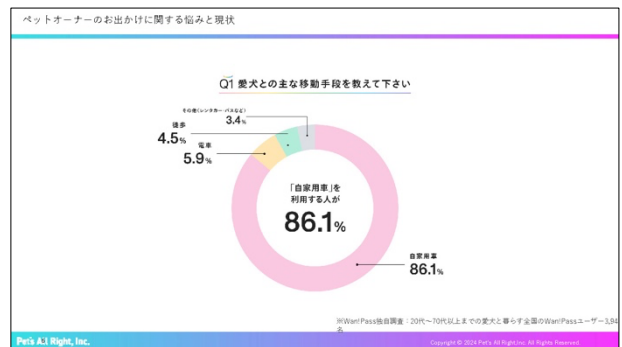
【スライド 02】



【スライド 06】



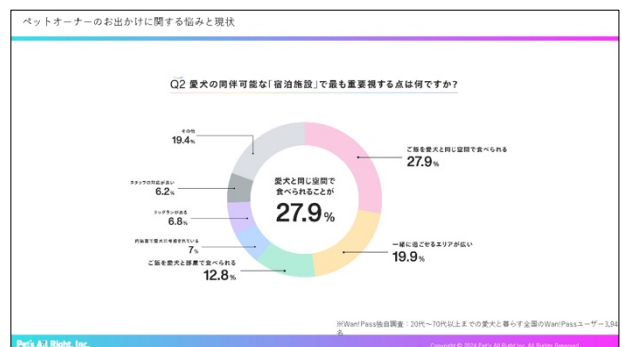
【スライド 03】



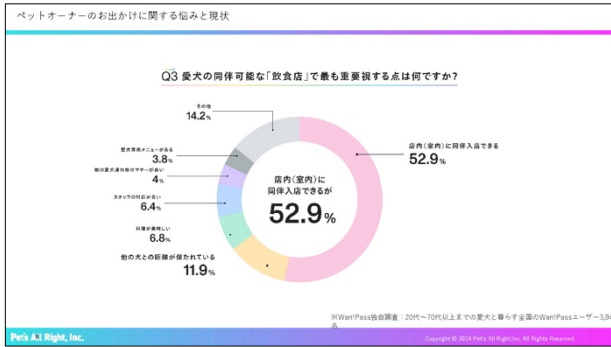
【スライド 07】



【スライド 04】



【スライド 08】



【スライド 09】

Pain - 日本の現状

日本はトレーニングの基礎を学ぶなど、最低限の飼育マナーが全体に浸透しておらず、各自が「自分の感覚で」しつけの基準を決めてしまっている状況。

うちの子はちゃんと「しつけ」できているの!

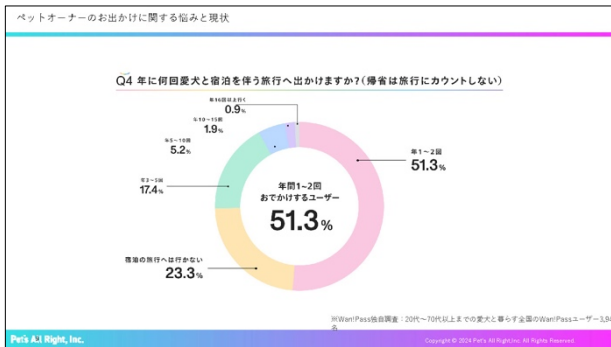
リードをひっぱって自分の好きなところへ行ってしまうお! マズなんてしないぞ!

↓

- ペットオーナー本人には悪意はないが、犬との行動におけるトラブルが発生しやすい状況が生まれている
- ペット連れじゃないお客様にも迷惑がかかる可能性をはらんでいる

Pet's All Right, Inc. Copyright © 2023 Pet's All Rights. All Rights Reserved.

【スライド 13】



【スライド 10】

課題

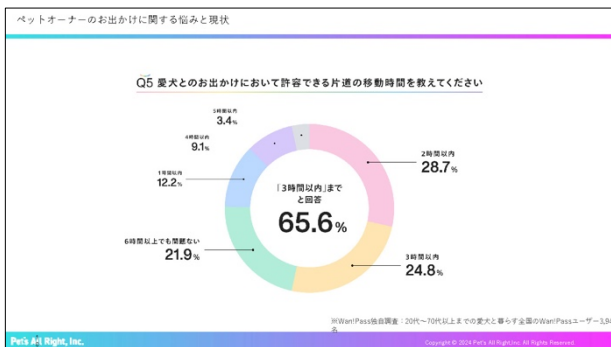
ペットを連れたユーザーの行動データが集められておらず、ペットツーリズムにおける定量的なデータが存在していない状況。その結果、現状ペットに関心のない属性の方の関心を獲得できず大きな取り組みに発展できていない。

↓

- ただし、個店ベースではペットツーリズムに力を入れたお店の業績は上昇している傾向が強い
- ペットを受け入れるだけでなく、デジタルツールなどを活用した、行動データの可視化が必要
- 最初の取り組みだけで評価せず、施策を実施しペットオーナーの行動データを集めてPDCAを回すこと

Pet's All Right, Inc. Copyright © 2023 Pet's All Rights. All Rights Reserved.

【スライド 14】



【スライド 11】

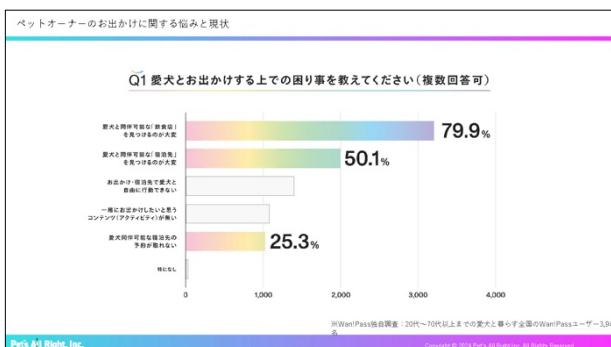
これからのペットツーリズムの取り組みとしてエリア全体での取り組みが必要

これまで (ペットツーリズム1.0)	これから (ペットツーリズム2.0) 当初期仮説
一部の宿泊施設等が営業再開する (結果、自宅と客の往復になってしまう) "点"の取組み	移動・宿泊・食事・観光等が連携する (結果、地域に長く滞在し楽しめる) "面"の取組み
マナーの悪い人の影響を基準とする為 行ける場所・出来る事が増えない "出来ない人に合わせる"設計	マナーが良い人ほど 一緒に行ける場所・出来る事が増える "出来る人ほど得する"設計
ペットフレンドリー店舗や店舗を創る 一本足コンセプト	他の観光コンセプトと掛け算で価値を創る (子育て・スポーツ・アウトドアなど) 複合コンセプト
一度掲げたら掲げ続ける (ゆえに壁の高さもある) 固定的なコンセプト	業種等に応じて、例えば期間限定で掲げる方法 (秋や春の期間限定で開放するなど) 柔軟なコンセプト

ペットと旅行する取組に「ワンコと一緒に、ここでしかできない体験」を町全体で取り組むことが必要

Pet's All Right, Inc. Copyright © 2023 Pet's All Rights. All Rights Reserved.

【スライド 15】



【スライド 12】

WantPassの活用で変わること

WantPassを活用することで ペット同伴可能先がアプリで可視化

01

WantPassが普及することで、わんちゃんと同様のお店が可視化。複雑な条件でも一発で入店可否が把握できる。来店後の入店継続を促しつつ、ユーザーの行動を促進することが実現

Pet's All Right, Inc. Copyright © 2023 Pet's All Rights. All Rights Reserved.

【スライド 16】

ピンが立つ店舗に設置するツール

各施設へ提供するPOP類

入り口の貼り付けイメージ

入場可能な各種施設に上記POPとステッカーを配布。QRコードを読み込むことで入店時のチェックインを行うことができます。※電子チェックイン入店前条件確認、入店ログ、クーポン発行など様々な体験を提供

Peis All Right, Inc. Copyright © 2023 Peis All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 17】

しつけ認定の特徴

認定は対面で、ワンパス認定士取得者が動画で記録

認定結果はアプリに反映、データとして活用可能

WaniPass認定士アプリ

認定試験はトレーナーが指示をするのではなく、あくまで愛犬と飼い主が協力して実施。試験風景はエビデンスとして動画で残すなど、認定の不正を防ぐような仕組みを実施。

認定は認定士しか利用できないアプリから飼い主の情報登録を行わないと認定を獲得することができません。対面で直接飼い主のIDなどを確認し、動画を添付して合格を出す必要があるため、厳格な審査を実現できます。

Peis All Right, Inc. Copyright © 2023 Peis All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 21】

WaniPassの活用で変わること

チェックインで入店審査とデータのやり取りがデジタルに完結

02 証明書・しつけレベルなどで入店可否を判定
同意書のサインもアプリ経由でデジタル手続きが実現。

QRコードを読み込 入店する犬を選択 同意書をデジタル化し てアプリで承認取得も可 結果を店員に見せる チェックインのタイミングで クーポンを発行すること

Peis All Right, Inc. Copyright © 2023 Peis All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 18】

Price-料金プラン ~利用料金は基本無料!~

端末などの事前準備は一切不要。
ご利用料金もずっと0円でカンタンにご利用いただけます。

QRコードが
印字されたカードを
設置するだけで
ご利用いただけます。

¥0

- アプリ内ウェブに
ペット同伴可能証(弊社顔印)を掲載
- 狂犬病・ワクチン接種書の電子管理
- 施設利用履歴書の電子管理

などの機能が、
無料でご利用いただけます。

Peis All Right, Inc. Copyright © 2023 Peis All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 22】

チェックインしたユーザーデータの閲覧や、入店条件の変更はいつでもOK

チェックインしたユーザーは一覧データで確認可能

入店条件の設定はいつでも、自由に。

狂犬病や混合ワクチンなどの接種状況も定期的に内容把握が可能。受付時に紙をコピーして保管するなどの手間も必要なく、スピーディーに健康管理を実現することが出来ます。

大店時に同意書の調書を求める場合は、各エリアの書式をPDFで入稿するだけで、同意書を入れることも可能

Peis All Right, Inc. Copyright © 2023 Peis All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 19】

各種メディアでも取り上げられてます

Peis All Right, Inc. Copyright © 2023 Peis All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 23】

WaniPassのが実現させた新しい体験

認定師がしつけレベルを認定する仕組みを作り
03 顧客マナーの状況を可視化して
入店条件を設定することが可能に

高野野出展中

Peis All Right, Inc. Copyright © 2023 Peis All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 20】

自治体との取り組み

山梨県富士川町様 富士川町

Peis All Right, Inc. Copyright © 2023 Peis All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 24】

自治体との取り組み例

山梨県富士川町様 

STEP 01 WaniPassのダウンロード **STEP 02 ワクチン証明書の登録** **STEP 03 チェックインの登録** **STEP 04 カネの登録を入手**



WaniPassのアプリダウンロードしてください。
無料でご利用いただけます。

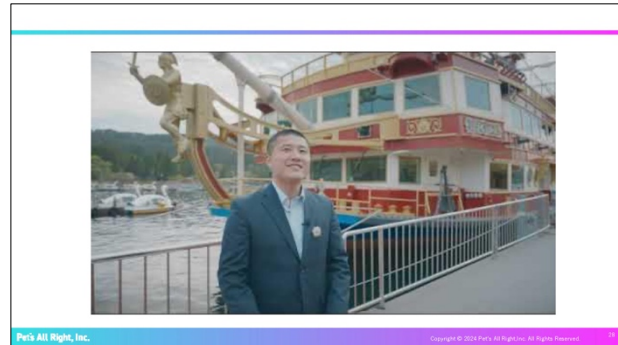
WaniPassのアプリに「狂犬病種別証明書」と「混合ワクチン接種書」を登録してください。
※登録はワンコから行います。
※登録済みのワンコのみです。

上記QRコードを読み取り、WaniPassアプリのチェックインを登録してください。
※ワンコから登録してください。
※登録済みのワンコのみです。

チェックインが完了すると、画面に種別番号が表示されるので、表示された番号を冊子のカネに入力してください。
※冊子はワンコから行います。
※登録済みのワンコのみです。

Pet's All Right, Inc. Copyright © 2023 Pet's All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 25】



【スライド 29】



【スライド 26】

ペットオーナーの防災に関する調査結果

Pet's All Right, Inc. Copyright © 2023 Pet's All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 30】

WaniPassの連携事例

軽井沢観光協会様

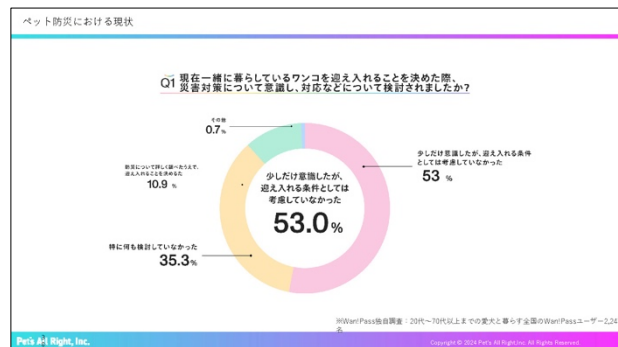
軽井沢観光協会様
軽井沢観光協会様は、WaniPass (ワンパス) が軽井沢観光協会様の観光推進プロジェクトに賛同して、**飼い主のマナーアップと愛犬との楽しい旅をサポート**を目的として業務提携をして、アプリの他イベントなどでも協力。



軽井沢ドッグツーリズム推進プロジェクト（軽井沢観光協会）様と連携し、軽井沢町の愛犬と同伴入店可能なお店をWaniPassに掲載。観光客の回遊を促進することと、愛犬と飼い主のマナーの啓蒙を目的として業務提携をして、アプリの他イベントなどでも協力。

Pet's All Right, Inc. Copyright © 2023 Pet's All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 27】



【スライド 31】

WaniPassの連携事例_認定士の排出

群馬動物専門学校様・世界の名犬牧場様 

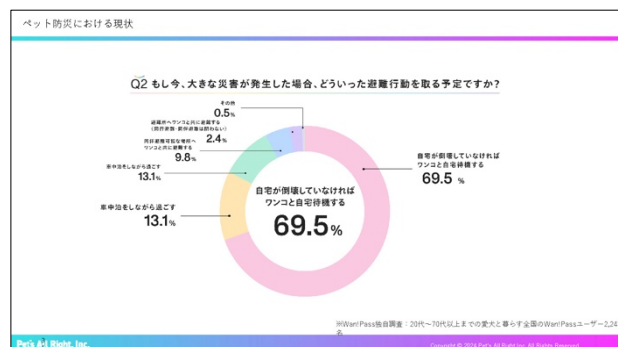
群馬動物専門学校様
群馬動物専門学校様は、WaniPassしつ認定を行うための資格プログラムをのキャリアムとして提供を開始。学校の授業をとおして資格を取得することで認定を行うことが可能になり、継続的にWaniPass認定士の排出にご協力いただいています。

箱根観光船株式会社様
箱根観光船株式会社様とコラボし、ワンちゃん同船可能な企画を開催。乗船時の手続をデジタル化し、乗場者にバッジをプレゼントするなど、リピートを促進する体験を提供することで、顧客満足度向上に貢献。イベントではチェックインラリーを実施して周辺エリアの回遊促進も実施。

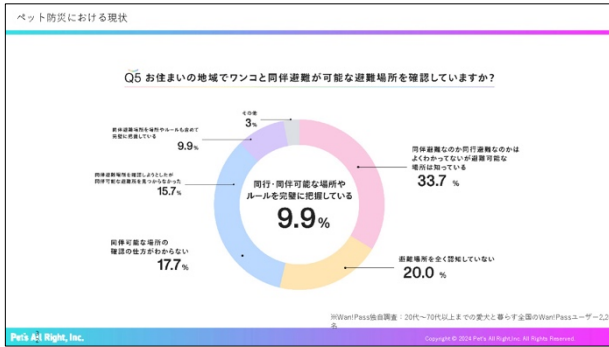


Pet's All Right, Inc. Copyright © 2023 Pet's All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 28】



【スライド 32】



【スライド 33】

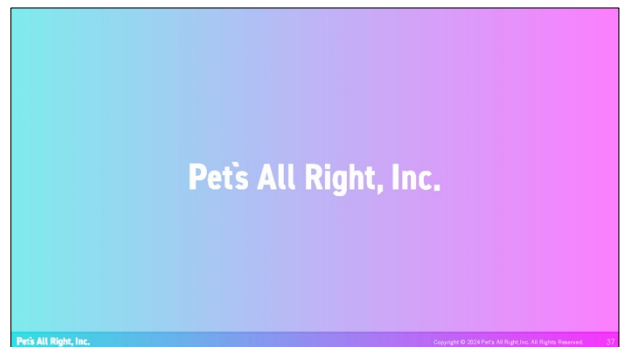
ご清聴ありがとうございました
Thank you for your attention

Pet's All Right, Inc. Copyright © 2023 Pet's All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 37】



【スライド 34】



【スライド 38】

災害時ペット同行・同伴避難機能

この機能は今後実装予定の機能です。※ペット同伴可能な避難所情報が必ずしも存在していない

画面3以上で通知
避難情報の認知啓蒙
視覚的な場所認知
同行条件や詳細情報の理解

本機能が必要レベル以上である自治体のみ実装するようでの対応を通知する予定。いざというときというイメージで、緊急時以外に必要となる通知を抑制する。緊急時以外に必要となる通知は、画面3以上で通知することによって必要な通知を抑制する。緊急時以外に必要となる通知は、画面3以上で通知することによって必要な通知を抑制する。

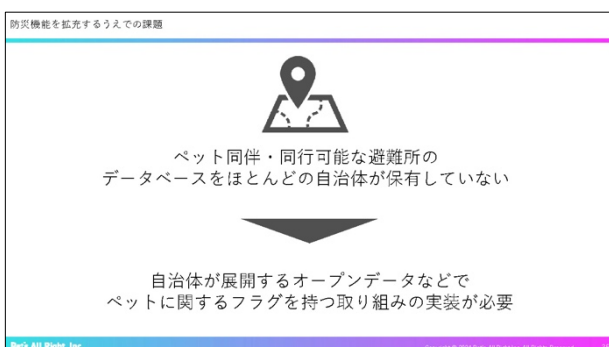
アラート時は音声で大きくアイコンで知らせる。これにより現在の地の近くの避難所を知らせる。いざというときに避難所を知らせる。いざというときに避難所を知らせる。

避難所にいる場合などで必要な巨大文字やアイコンで避難所を知らせる。いざというときというイメージで、緊急時以外に必要となる通知を抑制する。緊急時以外に必要となる通知は、画面3以上で通知することによって必要な通知を抑制する。

ペットを連れていくと、避難所における持ち物や注意事項を提示。避難所での滞在時間や避難所の混雑状況などをリアルタイムで提供し、避難所での滞在時間を提供。

Pet's All Right, Inc. <https://pet-allright.com/> Copyright © 2023 Pet's All Right, Inc. All Rights Reserved.

【スライド 35】



【スライド 36】